

(別紙様式)

令和5年度学校評価の実施状況等調査

学校名	県立美咲特別支援学校
記載者名	西田敦子

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	3	1	140	6	3	154

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	0	0				5

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	237	158	0				395

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(校内掲示)
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(学校評議員会)

5 令和4年度の学校評価を踏まえ、令和5年度改善した点(いじめ問題に関すること等)

①幼児児童生徒、職員の安全確保、保護者、放課後事業所車両、来客用それぞれの効果的な交通誘導の工夫。
②拡大教科会、校内研修を踏まえた、各学部の系統性を意識した授業改善及び教科別指導の充実。
③個別の指導計画、年間指導計画等を踏まえた基礎資料の活用とPDCAサイクルによるカリキュラムマネジメントの実施。
④PTAルームの積極的活用、参集方のPTA活動の実施の工夫。
⑤Teams等の活用による配布資料の削減、会議の持ち方の工夫。

6 令和5年度の学校評価で明らかになった課題

①ICT活用や情報教育の取組周知。
②教師向けの人権教育、児童生徒向けの人権教育の充実、いじめ対策等における取組の周知。
③安全管理における登下校時の校内の交通誘導及び教職員の働き方改革の視点でのさらなる工夫改善。
④働き方改革の推進。
⑤進路選択、進路指導(キャリア教育)の充実。

7 令和5年度の学校評価を活かした令和6年度の改善点

①授業参観や学校だより(HP掲載等を含む)を活用した情報教育の発信。
②人権教育を踏まえた職員研修の実施、児童生徒が実感できる人権教育の工夫、学校いじめ防止対策の周知。
③交通誘導についてPTAの協力を継続依頼するとともに、安全主任との連携、関係機関との連携による工夫改善。
④年間計画、行事等の見直しによる児童生徒と向き合う時間を作る工夫、教育効果を高めていくための意識改革の推進。
⑤全保護者向けの進路講話の実施や各学部段階における自己選択、自己決定を意識したキャリア教育の充実。